



打って出たか？ 待っていなかったか？ これでよかったか？

この紙面を通して第1号（4月号）で、本校職員の教育活動に取り組む心意気を表明させていただきました。それが下の言葉です。

「打って出にゃ 待っとるだけじゃ あかんでえ」

この言葉のように威勢よく、やる気と積極性に溢れた気持ちで平成26年度の教育活動を進めて参りました。しかし、決して平坦な1年とは言えませんでした。子ども同士のトラブルの解決に心を悩ませ、授業の準備や研究に知恵を絞り、追われる行事に時間を取られ、保護者の方々からの要望に心を砕く毎日でした。でも、甚目寺西小学校の教育活動を粛々と進めることができたのは、地域の皆様の理解や保護者の方々のご協力の賜と思っております。

反省すべきことはたくさんありますが、私自身「よかったなー！」と感じたことが二つあります。一つ目は、学習発表会で披露させていただいた「全校合唱」です。合唱専門の先生にご指導をいただいたお陰で、子どもたちの合唱力は段違いに向上しました。参観していただいた学校評議員の先生方からも「すばらしい！ 感動した！！」というお褒めの言葉を頂きました。

二点目は、通学団を再編成したということです。従来、2列だった並び方を1列にしたこと。一つの通学団の規模を、最大でも10人程度を目途に再編しました。「交通事故からの危険性を少しでも下げる」ということが最大の目的です。同時に、登下校の安全指導も通学団担当を中心に取り組んでまいりました。この1年間の取組が、登下校する子どもたちの姿に、少しずつ成果として表れてきているのではないかと感じています。しかし、安全安心について「これで十分」ということはありません。これからも皆様方から情報を頂きながら、子どもたちの安全安心に取り組んでいきたいと思います。

私たちは今に満足せず、見出しの

「打って出たか？ 待っていなかったか？ これでよかったか？」

を互いに確かめ、反省しながら次年度に向かっていきたいと考えております。そして、お預かり



— “心” を伝える素敵なハーモニー！ —
学習発表会での全校合唱



—安全に注意して一列登校—
通学団での登校風景

した子どもたちの教育に職員一丸となって当たって参ります。どうか、地域の中に生きる学校として、これからも

「打って出にゃ 待っとなるだけじゃ あかんでえ」

という気概に満ちた甚目寺西小学校の教育活動に、お力添えとお支えをいただきますことを心よりお願い申し上げ、本年度1年間のお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

交流を大切にした教育活

—多くのことを学び、感じ取った1年間—

児童交流活動に地域交流活動、さらに国際交流活動と、子どもたちは、たくさんの人との温かいかわりあいを通して、多くのことを学び、感じ取りながら、着実に成長してきました。素敵な笑顔がたくさん見られた素晴らしい1年でした。

